

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	交差点改良事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働：】		
目的・目標		事業の概要	
右折帯を設置することにより、交通渋滞の緩和が図られ、騒音などが低減され、市民が快適に暮らしています。		交通渋滞の解消や事故防止のため、車両がスムーズに交差点を通過できるよう右折帯を設置します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	交差点改良進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの指数累計に対する当該年度までの指数累計の率。測量10、用地・補償40、工事50(平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標		23	37	57		
	実績		23	34			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
吉沢・土屋線の座禅川橋の架替工事に伴う仮橋、仮設道路の設置と旧橋撤去を行いました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	交差点を改良し右折帯を設置することは、交通渋滞の解消や事故防止のため、必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	右折帯を設置することにより、交通の利便性を図り、生活環境の有効性を高める必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民生活に欠かせない道路整備であり、安全で快適な生活環境の確保が必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	道路整備のコスト削減に取り組みます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		警察等と協議を行い、改良が必要な交差点の優先順位を定め、整備を進める必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		用地買収・測量	工事、補償	工事	工事、仮設道路
財源内訳	国庫支出金	0	49,984	12,881	3,850
	県支出金	0	0	0	0
	起債	12,000	27,100	143,500	196,000
	その他 特財	0	62,302	4,630	0
	一般財源	38,433	23,447	17,322	27,360
事業費 (A)		50,433	162,833	178,333	227,210
執行率 (%)		24.39	70.83	65.75	
内訳	職員 (人)	1.30	1.30	1.75	1.85
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.05
人件費 (B)		10,863	10,737	14,182	14,998
フルコスト (A+B)		61,296	173,570	192,515	242,208

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	交差点の右折帯設置は交通渋滞の解消につながるため、原状の規模で事業を継続します。
課長コメント	交差点を改良し右折帯を設置することは、渋滞解消等の効果が期待されるため、市としても積極的に事業を進めます。